

1 「一目で伝える工夫」について、次の文章を読み、①②に答えなさい。

駅や空港などの公共の場で主に用いられる（ 1 ）は、伝えようとする情報がひと目で伝わるように工夫された視覚記号の一つです。具体的な物や行為などの形や彩を単純化や強調することで、わかりやすく情報を伝えます。

さらに、ピクトグラムや文字情報などを組み合わせ、必要な情報を的確に伝えたり、人々の動きをスムーズに誘導したりするための全体計画を（ 2 ）といいます。

使う場所の特性やイメージを考えながら、（ 1 ）や（ 2 ）を考えてみましょう。

①空欄（ 1 ）・（ 2 ）を埋めよ。

②二重傍線「視覚記号」の英語名は何か。カタカナで答えよ。

〈写真〉

2 次の設問に答えよ。

①〈写真〉の美術作品を名前を答えよ。

②「芸術はみんなのもの」ということを主張した、〈写真〉の美術作品の作者名を答えよ。



3 「時代を超える『琳派』の魅力」について、つぎの（ 1 ）～（ 8 ）の空欄を埋めよ。

江戸時代の画家、（ 1 ）や（ 2 ）は、（ 3 ）や（ 4 ）をモチーフとして、独自の装飾的な絵画をつくり上げました。（ 5 ）と呼ばれる彼らの様式は、工芸品とも関わりが深く、^{とうき}陶器や^{しつぎ}漆器、^{せんしよくひん}染織品などにも広がりました。自然観察をもとに、（ 6 ）・（ 7 ）・（ 8 ）などの手法をとおして生み出されたユニークな形は、時代を超えて受け継がれ、今日のデザインにも大きな影響をあたえています。現代に生きる（ 5 ）の魅力を探ってみましょう。

（注）（ 1 ）の代表的な作品として『風神雷神図』がある。また、（ 2 ）の代表的な作品として『紅白梅図屏風』がある。

4 「日本の伝統色」

①白色（＝（ 1 ）色）・・・（ 2 ）の殻を風雨にさらし、細かく砕いた白色。

②鳥の子・・・（ 3 ）の赤みがかかったごく淡い白色。鳥の子とは^{ひな}雛ではなく（ 3 ）のこと。

③（ 4 ）色・・・早春に咲く（ 4 ）の花の色のような（ 5 ）みのある淡い紅色。（ 6 ）の一種。

④^{えび}海老色・・・（ 7 ）時代は（ 8 ）で代用され（ 9 ）と記された。

⑤^{ひわだ}檜皮色・・・（ 10 ）の樹皮のような黒ずんだ（ 11 ）色。平安時代の『（ 12 ）』にも登場。

⑥^{あずき}小豆色・・・（ 13 ）時代からの色名。（ 14 ）がかった（ 15 ）色。

⑦（ 16 ）色・・・トビの羽のような暗い（ 17 ）色。（ 18 ）時代、男性の着物の色として流行。

⑧^{しゅいろ}朱色・・・（ 19 ）時代にも使われた古い色。土の中の（ 20 ）が硫化してできる、（ 21 ）を帯びたあざやかな（ 22 ）色。

⑨^{まつば}松葉色・・・マツの葉の深みのある渋い（ 23 ）色。常に緑を保つマツから、（ 24 ）を表す。

⑩^{うぐいす}鶯色・・・ウグイスの羽の黒くくすんだ（ 25 ）色。（ 26 ）時代からの色名。

⑪^{ろくしょう}緑青・・・銅が錆び表面に生じる明るく鈍い（ 27 ）色。天然の顔料の岩緑青は（ 28 ）が原料。

⑫^{ぐんじょう}群青色・・・鉱石（ 29 ）を砕いて作る澄んだ青色。

⑬^{ろり}瑠璃色・・・紫色のさえた青色。（ 30 ）（＝瑠璃）という希少な鉱物のような色。

⑭^{ききょう}桔梗色・・・青みを帯びた（ 31 ）色。（ 32 ）時代から愛されていた色名。

⑮利休鼠・・・茶人の（ 33 ）を連想させる（ 34 ）みの鼠色。（ 35 ）時代に流行した。